

MFYニュース2011年度 後期号

発行 2012年3月 (社)青少年音楽協会

青少年音楽協会会員の皆様へ

厳しい寒さが続いた冬もようやく終わりを告げ、桜の開花の頃となりました。

2011年度は東日本大震災の影響を受け急遽会場の変更でご迷惑をお掛けしたり、毎年恒例のバレエ『くるみわり人形』が中止となり、楽しみになさっていた方々には大変申し訳ないこととなってしまいました。

3.11のあの日、木造のカニングハム・メモリアルハウスは、ギューギューと軋みながら全身を振り回すように揺れ動き、荒海の中の小船のようでした。潰れなかったのが不思議なくらいでしたが大きな被害はありませんでした。

大勢が集まる場所のことで、念のため中央の壁に耐震の工事を8月に済ませました。これからも大切に、そして安心してサロンコンサートを行っていきたいと思います。

皆様のご支援により、今年度の催し物も何とか終わらせることが出来ましたことを感謝いたします。

ここに、本年度後半に行われましたコンサートのご報告をいたします。

MFY 理事・職員一同

《教育的バレエコンサート》

◇ “THE MAGIC OF DANCE” “THE STORY OF BABAR”

10月12日（水）10:45 国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール

☆毎年行われているインターナショナルスクールの子どもたちのためのバレエコンサートです。

東京都児童会館が急に閉館となり初めて使用する会場となりました。勝手に分からず少々戸惑いましたが、とても美しいホールでほっとしました。他にも震災の影響で、いつも参加していた学校の中に、子どもたちの多くが本国へ帰国してしまい参加不可能となってしまったこともあり残念でした。前日の最終舞台稽古を会員や一般の皆さまに公開したのも初めてでしたが、大変好評を戴きました。

<振付> 雑賀淑子

<出演> サイガバレエ ほか

第1部 マジック・オブ・ダンス

1. ダンサーによるストレッチとバレエレッスン
2. ミュージカルナンバー
『オズの魔法使い』より
『メリーポピンズ』より
3. トムとジェリー
4. トゥシューズとタップシューズについて
バレエ『くるみわり人形』より“花のワルツ”
タップダンス



【オズの魔法使い】



【メリーポピンズ】



【トムとジェリー】



バレエ『くるみわり人形』より“花のワルツ”

☆マジック・オブ・ダンス・・・・・・・・

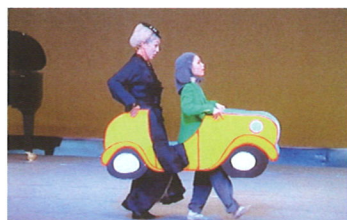
「皆さんの目にするダンスナンバーはどうやってつくられるのでしょうか？」を子どもたちにも無理なく理解できるように実演と合わせて説明されました。

第2部 小象ババールのお話

ピアノ／櫻木枝里子

朗読／雑賀淑子

特別出演／インターナショナルスクールの児童7名



☆小象ババールのお話・・・・・・・・

子どもたちの大好きなお話、舞台に引き込まれるように喜びの声をあげてみていました。そしてババールの結婚式の場面に特別出演した子どもたちもすっかり場面に融けこんでいて、可愛らしく楽しそうでした。

《チャペルリサイタル》

◇第61回チャペルリサイタル

10月22日(土) 15:00 日本福音ルーテル東京教会

<出演>

ソプラノ独唱／二瀬侑香

ピアノ伴奏／岩城美智子

ピアノ独奏／松山実紗子

<特別出演>

ヴァイオリン独奏／佐藤博志

ピアノ伴奏／長澤晴浩



☆視覚に障害のある若い音楽家たちの演奏は素直でいつも心が洗われます。それだけでなく今回の特別出演のヴァイオリン佐藤博志さんとピアノの長澤晴浩さんのベートーヴェンのソナタの演奏には、曲の最初の部分からぐっと心をつかえられるような素晴らしい演奏でした。

《サロンコンサート》

◇クリスマスサロンコンサート

12月25日(日) 14:30 MFYサロン

<出演>

ヴァイオリン／玉山晴香
阿久津紀彦

ヴィオラ／林 徹也

チェロ／菅沢健介

ピアノ／林 さち子

バレエ／サイガバレエ



☆恒例のカニグハム女史とその母を偲びつつ行うコンサートに、今年もとても大勢の方々が集って下さいました。クリスマスの午後のひととき、心静かに豊かな音楽に包まれて過ごす心地よさは、毎年のことながら素晴らしいことです。「くるみわり人形」の花のワルツにはバレエも入り美しさにうっとり、その中間部でマジシャンに扮した関あゆみさんの、スカーフがステッキに変わるマジックなどに歓声があがりました。これも恒例になった「クリスマスキャロル」をお集まりの皆様全員で歌ったことも、ワイン・お茶・お菓子をいただいたひとときもクリスマスならではの楽しいひとときでした。

◇スプリングサロンコンサート

—3月、別れと出会いの交差点にたたずんで—

3月24日(土) 16:00

MFYサロン

<出演>

ピアノ／中村容子

バレエ／関あゆみ



☆サロンいっぱいピアノの美しい調べが響き渡り、皆の心を静かにしっかりと掴みました。

3月生まれの4人の作曲家、バッハ、ハイドン、ショパン、ラベルのそれぞれ異なる別れを意味する作品を取り上げた、変化に富んだ、しかも内容の深い絶妙な構成のプログラムでした。また表現力の素晴らしさとも相まって、引き込まれるように聴き入ってしまいました。

ラベルの2曲にはバレエが入り、より作品の内容が深められ豊かに感じられました。アンコールの「Happy Birthday」の変奏曲では、バッハ風、ベートーヴェン風などと作曲家の個性を取り入れたアレンジになっていてユーモアが感じられ笑い声も起りました。

終演後、感激されて「とてもよかった。」「とても素晴らしいコンサートでした。」と声を掛けて下さった方も多く、嬉しいことでした。



《特別企画—新春コンサート》

◇『動物大行進 No.3』

2012年1月31日(火) 18:45 ルーテル市ヶ谷センター

☆カニングハム女史は動物愛護の心の強い方でした。『動物大行進』のNo.1とNo.2のコンサートがありましたが、その都度、動物福祉協会、関西のARKへと寄付をさせていただきました。今回の福島原発事故により20キロ圏内に置き去りにされた動物たちを保護し、里親探しをしている「にゃんだーガード」救援本部に『動物大行進No.3』の収益金を寄付することにいたしました。お陰さまで、皆様のご協力をいただき大変盛会となり、とりあえず30万円を寄付させていただきました。また、ボランティアとして現地に行っておられる方の交通費なども支援をすることができました。当日の出演者は国際色も豊かで内容も変化に富み面白いコンサートになりました。その様子を写真でご紹介いたします。

第1部 若い二人のコンサート

●ギター

<出演> ギター／秋田勇魚

●ニッケルハルパ

<出演> ニッケルハルパ／ルイース・ビュールンド

ダンス／ハンボヴェンネルナ (スウェーデンフォークダンス研究会)

☆しっかりとした技術を持ち、クラシックギターの素晴らしい演奏を聴かせて下さいました。



☆スウェーデンの民族楽器ニッケルハルパの演奏に合わせ、お客様も誘い客席まで降りて賑やかに踊りました。



第2部 バレエ『チュウちゃんが動物園へ行ったお話』

音楽＝中田喜直・ろばの会 演出＝牛山剛 振付＝雑賀淑子

<出演> バレエ／サイガバレエ

☆ねずみの子どもチュウちゃん姉弟が動物園に行き、初めて沢山の動物たちに出会う、童話の世界の楽しいバレエでした。



第3部 シャンソン

<出演> 歌／シュブリーム

ピアノ／サヤマコウタ

☆フランスはパリ出身のシュブリームさんの本格的なしっとりとしたシャンソンに酔うことができました。



MFY理事 三石純子氏から寄付金贈呈



にゃんだーガード代表
本多 明氏